

A close-up photograph of two small green tree frogs perched on the petals of a large, vibrant pink flower. The background is a soft-focus green, suggesting foliage. The title text is centered in the upper half of the image.

環境報告書2018

目 次

トップメッセージ	2
会社概要	3
担当役員あいさつ	4
製品紹介	4
環境方針	5
事業活動に伴う環境負荷	6
2017年度目標と活動実績	7
省エネルギー化の取り組み	8
リサイクル化の取り組み	8
グリーン調達の取り組み	9
環境教育の取り組み	9
地域貢献活動	10
クリーン作戦	10
仲道郁代氏ピアノリサイタル	10
イルミネーション	10
学術支援活動	11
今後の取り組み	11
環境会計	12
お問い合わせ先	13

◆ トップメッセージ



ユニオンツール株式会社

代表取締役会長 **片山 貴雄**

代表取締役社長 **大平 博**

ユニオンツールの主力製品は電子機器製品に内蔵されているプリント配線板に貫通穴をあける専用工具です。この専用工具であるPCBドリルは径の細さに加え、より耐久性が高く良く切れることが求められています。

またPCBドリルに次ぐ主力製品として超硬エンドミルがあります。金型加工全般、自動車関連、各種部品加工向けに需要を拡大させており、超硬エンドミルも長寿命、高効率化を進めるためにダイヤモンドコート品、形状特殊品の開発を強化しております。

ユニオンツールでは超硬素材とコーティング技術の融合による大きな成果も出しております。その1つである超硬素材を削ることができる超硬エンドミルは、とてもインパクトのある製品として市場に送り出すことができました。これは今までユニオンツールが構築してきた実績とさまざまな発想を重要視しながら新製品の開発にチャレンジし続けたことが形となったものです。お客様での加工時間の短縮、品質面での向上や環境の側面からも効果が認められた製品になっております。

お客様のお役に立てる製品をこれからも市場に送り出すためには、営業部門や開発部門そして工具製造部門が一体となり小さな情報を取りこぼすことなく関心を持ち取り組むことが重要です。切削工具の専門的な基礎知識はもちろんのこと各分野の話題も開発のヒントに繋がります。このように、すべての取り組みに目的意識を持ち開発に広がりを持たせることで強固な技術力に結びつけてまいります。

また、より良い製品の継続的な開発、製造を進めて行くために工場内の環境の改善や設備のレイアウトを見直し、加工機の増設・改良も積極的に行っております。更に各部門における社員の多能工化を図ることでユニオンツール全体のスキルの底上げに繋がっています。

その一方で、女性社員の活躍推進は継続した課題とも認識しております。女性社員の積極的採用、事業所内保育所の活用及び面談を通じた子育て・仕事の両立に向けた要望についての意見交換をこれからも行っていき、人事制度の充実に努めてまいります。

私たちユニオンツールの製品はその特性を最大限に発揮させることで、お客様が求める品質に少しでも近づけるものと考えております。価格や高品質などの共通のニーズはこれからも不変ですが、時代に応じた変化し続けるニーズも余すところなく取り込み、さまざまな活動を通してこれからも社会の発展に貢献してまいります。

本環境報告書も今年で18年目となります。この「環境報告書」を通じて弊社の取り組みをご理解頂くとともに、これからも皆様からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

◆ 会社概要

会社名：ユニオンツール株式会社

本 社：東京都品川区南大井 6-17-1

資本金：29 億 9850 万円

決算日：12 月 31 日

従業員数：791 名（2017 年 12 月末現在）

グループ全体：1,450 名

工 場：長岡工場（新潟県長岡市）

見附工場（新潟県見附市）

研究所：三島研究所（静岡県駿東郡）

営業所：長岡営業所

大阪営業所

名古屋営業所

安城営業所

北関東営業所

ISO14001：長岡工場（2000 年 3 月に認証取得）

見附工場（2007 年 8 月に取得範囲拡大）

主要な事業内容

◆ 切削工具事業

プリント配線板用超硬ドリル（PCB ドリル）

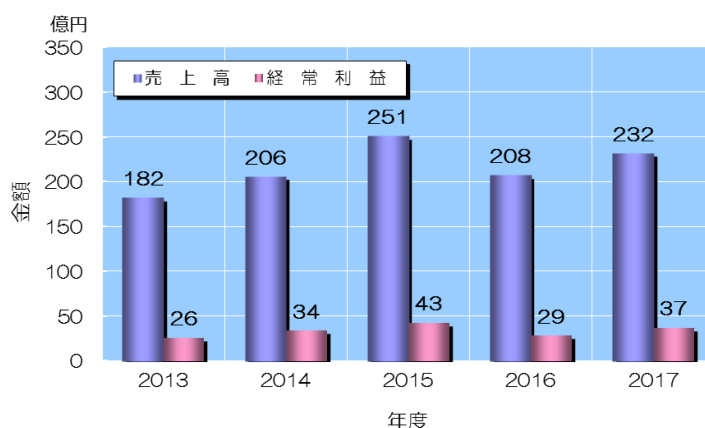
超硬エンドミル

◆ その他事業

直線運動軸受、転造ダイス、転造・関連製品、

専用機、測定機器、生体センサ関連

◆ 売上高・経常利益の推移（連結）



（注）2015 年は決算期変更の経過期間であり、13 か月決算となっております。

関連子会社：

■台湾佑能工具股份有限公司

■UNION TOOL EUROPE S.A

■U.S. UNION TOOL, INC.

■佑能工具(上海)有限公司 ☆ISO14001 取得

■優能工具(上海)有限公司

■UNION TOOL HONG KONG LTD.

■UNION TOOL SINGAPORE LTD.

■東莞佑能工具有限公司 ☆ISO14001 取得

■UNION TOOL (THAILAND) CO.,LTD.

◆ グローバルネットワーク



◆ 担当役員ごあいさつ

日本国内の製造拠点である長岡・見附工場内では現状、旺盛な製品需要に対応すべく、生産能力を増強する為、設備機械の組み立て部門もフル稼働し、自社開発した設備機械をさらに積極的に導入しています。通常であれば設備機械は専門メーカーから購入するため、導入まである程度の納期を必要としますが、内製化した機械は短納期で戦略的に導入することができます。また自社開発のメリットは有事の時に事業継続の側面から見ても内製のノウハウがあることによる早期の立ち上げ、復旧が可能なことにも繋がります。

各現場へ導入した設備機械は製造部門からの使用上の課題など、改善が必要となる部分の改良にも迅速に対応が可能であると共に、デザインレビューを通じて・確実に次号機へ反映出来る点も自社開発している強みと言えます。また、機械構成部品は機種が異なっても出来るだけ共通化する事により管理部品点数の削減にも配慮しています。特殊な形状の工具の生産に対応するため加工機は以前に比べ操作が複雑化してきています。手際の良いベテラン社員から経験値が浅い入社間もない社員まで機械操作に携わるため、少しでも早くベテラン社員に近づけるよう操作や設備メンテナンスの作業員教育も充実させています。

長岡工場に隣接した事業所内保育所「ゆにおんの杜 南陽保育園」は、昨年4月に開設し1年が経過しました。ユニオンツールとしても新しい取り組みでしたので、あらゆる方面からアドバイスを頂きながら運用してまいりました。近隣事業所や弊社に勤める保護者にとってお子さまが近くにいることによる安心感は大きな魅力と考えます。保育所行事では児童と社員が触れ合う場面もあり、小さな輝く笑顔に社員も癒されています。弊社は育児短時間勤務制度の対象年齢を法律より引き上げており、これからもこのような社内の制度を含め、働きやすい職場形成に継続して注力してまいります。

この度、当社工場で推進しているさまざまな活動を環境報告書としてまとめました。皆様からご覧頂き、ご意見を賜りまして、皆様とのコミュニケーション、ならびに、今後の環境活動の糧とさせていただきたいと考えております。

ユニオンツール株式会社

専務取締役 涌井 秀夫

◆ 製品紹介

独自の超精密加工機械が生み出す高品質ドリル、走行精度・剛性・寿命が飛躍的にアップした直線運動ローラー軸受等高い技術力でより優れた製品をお届けしています。



PCBドリル



転造ダイス



超硬エンドミル



直線運動ローラー軸受



デジタル測定器



受託コーティングサービス



塗工バー



生体センサ関連



ユニオンツール(株)

環境方針

基本理念

自然を愛し、人を愛する企業活動を通じて、豊かな地球環境づくりに貢献する。

基本方針

当社長岡工場及び見附工場（以下当社工場という）は、ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、以下の方針に基づく環境保全活動を行うことにより、地域及び地球環境と企業活動の調和に努める。

1. 当社工場の活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で目的、目標を定めて環境保全活動を実施する。
2. 環境目的、目標を定期的に見直すことにより環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図る。
3. 環境関連法規、条例及び当社工場が同意するその他利害関係者からの要求事項を順守し、更に可能な範囲で自主基準を定め、環境汚染の予防に努める。
4. 当社工場の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の中で、次の項目を重要テーマとして取り組む。
 - 1) 省エネルギー化の推進
 - 2) グリーン調達への推進
 - 3) リサイクル化の推進
 - 4) 省資源化の推進
5. 環境方針は、環境マネジメントシステムにより実施、維持すると共に経営者が当社工場で働く全ての人に周知徹底する。
6. 環境方針は、社外に公開する。

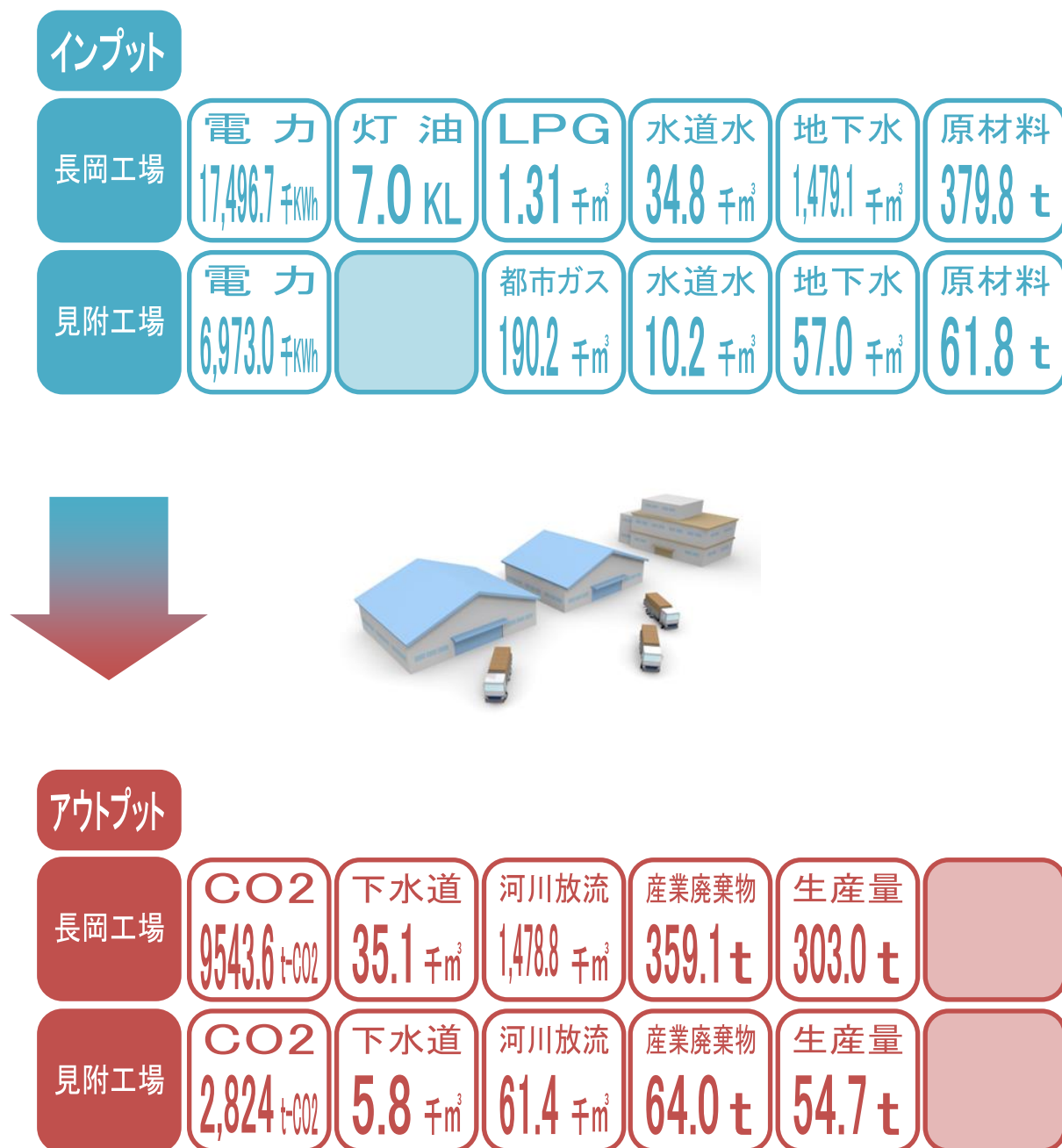
2014年 2月 25日
代表取締役社長 大平 博



◆ 事業活動に伴う環境負荷

当社では、事業活動に伴って発生する環境負荷をインプット～アウトプットにわたって把握・監視することにより、効果的な環境負荷低減活動が行えるよう努めております。

インプットの中で注目されるエネルギーの使用量に関しては、特に CO2 の排出割合が全体の 9 割以上を占める電力について重点を置き、積極的に省エネ活動を行うことにより CO2 排出量の削減を進めております。



☆各数値の集計期間は 2017. 1～2017. 12 となっております。

※1 CO2 排出量：「エネルギー使用の合理化等に関する法律施行規則」に基づき換算
平成 27 年度定期報告による。

※2 産業廃棄物量：「産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について」
(環廃産発基 061227006 号)

◆ 2017 年度目標と活動実績

2017 年度は環境方針の重要テーマである省エネルギー化、リサイクル化、省資源化に基づき、目標を立て活動を行いました。

省エネルギー化については、前年度の使用量の 1%削減を目標として取り組みを進め、長岡工場、見附工場共に目標を達成することができました。

リサイクル化については、周囲の状況の変化に伴い、効率化・採算性を考慮した形で取り組みの手法を検討しながらケースの再使用を推進してまいりました。

省資源化については、製造設備の開発により新たな省資源工具・長寿命工具の開発・改良を進め、より多くのお客さまより認めていただける製品となるよう追求してまいりました。

2017 年度目標と活動実績

項目	推進内容	2017 年度目標	2017 年度実績	評価	頁
省エネルギー化	2019 年度までに 単位生産電力使用量 (※1) を 2014 年度比 5%削減 【長岡工場】	2016 年度電力使用量の 1%削減	2016 年度電力使用量の 2.77%削減	◎	8
	2019 年度までに 単位生産エネルギー使用量 (※2) を 2014 年度比 5%削減 【見附工場】	2016 年度エネルギー使用量の 1%削減	2016 年度エネルギー使用量の 1.23%削減	○	8
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	2Q までに海外回収品の計画的再生 処理と在庫状況の見える化の確立	リサイクル業務外注委託開始	○	8
		2Q までにリサイクルの採算と数量 の平準化を考慮したケース回収体 制の確立	不採算ケースの海外回収中止	○	8
	エンドミルケース再使用の推進	エンドミルケース回収量の調査及 び管理	回収量・回収状況の把握	○	-
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 2 件	長寿命工具の開発 2 件	○	-
		工具用膜の開発 2 件	工具用膜の開発 2 件	○	-

【評価】 ◎：目標を大幅に達成 ○：目標を達成 △：目標をほぼ達成 ×：目標未達成

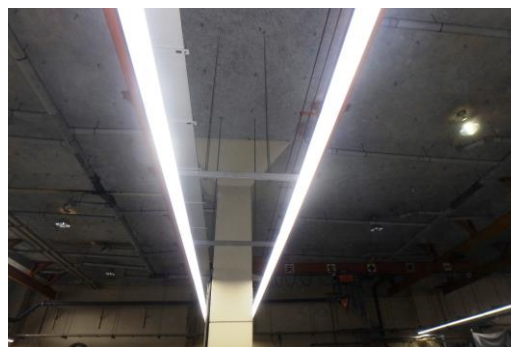
※1：「単位生産電力使用量 (kWh/千本)」＝「電力使用量 (kWh)」÷「切削工具の生産本数 (千本)」

※2：「単位生産エネルギー使用量 (kL/本)」＝「原油換算エネルギー使用量 (kL)」÷「切削工具の生産本数 (本)」

◆ 省エネルギー化の取り組み

2017年度は各工場とも「2016年度電力（エネルギー）使用量の1%削減」を目標に設定し、省エネ活動に取り組んできました。長岡工場では2016年度の電力使用量に対して約2.8%削減できました。また見附工場においても約1.2%削減し、ともに目標値を達成することができました。

長岡工場では効率改善として新型のコンプレッサーを導入しました。今まで使用していた旧型のコンプレッサーはバックアップ用に変更し、日常的な稼働については効率の良いコンプレッサーを稼働することで省エネ化を図りました。この効率改善で昨年24,000kwhを低減することができました。また照明器具の更新を実施しました。工場内の照明をフロア単位で計画的にLED照明に変更する改善を行っています。工場フロアのレイアウトや投資費用の関係ですべての照明を一斉には変更できませんが、継続的に進めていきます。



▲LED照明に変更

見附工場の改善事例としては内製化による新型洗浄機を導入したことで、今まで使用していた洗浄機よりも処理能力が向上しました。またコーティング工程では、バッチ処理におけるロスをできるだけなくするために製造部門と生産管理部門が綿密に連絡を取り合い、品質を維持した上でより多くの数量でバッチ処理できるように改善しました。生産効率を向上させることで省エネに貢献しています。

今後も幅広い視野のもと、効率の良い生産活動が継続して行えるよう努めていきます。

◆ リサイクル化の取り組み

長岡工場内で実施してきたドリルケース回収・リサイクル業務において昨年大きな転機を迎えました。

資源を最大限に有効活用するためできるだけ多くのケースを再生することが継続的な取り組みであり課題でした。営業部門や製品管理部門の積極的な活動により、ケースの回収量を増やし一定の再生率を維持してきましたが、工具の出荷本数が増加傾向にあり今まで以上にケースの回収量を増やすことが急務となりました。

更に回収したドリルケースの保管場所確保やリサイクル業務の取り組みそのものが年々環境活動の中で重要な役割となってきた、より専門的な活動として位置付ける必要があるものになってきました。

これらを踏まえてリサイクル業務の見直しを図った結果、ドリルケースの回収・リサイクル業務を一括で委託できる業者と業務提携することになりました。



▲ドリルケース

業務提携したことで今まで以上に再生数の増加が期待できます。また提携先での作業スペースが広く確保できるようになり回収ケースの受け入れ態勢も今まで以上に充実することができました。

ドリルケースの再生はこれからも続けていきますが、より多くライフサイクルを重ねていくためにも、お客様からはできるだけケースをきれいな状態でご使用していただくよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆ グリーン調達の取り組み

地球環境保全と環境負荷低減に配慮した製品をお客さまに提供していくためには、環境に配慮した材料・部品等を積極的に採用していく必要があります。当社では欧州の RoHS 指令をはじめ、世界的に拡大していく化学物質関連の法規制に対応し、お客さまが安心して使用できる製品を提供できるよう、グリーン調達ガイドラインを定め、それに基づく調達活動を行っております。

また、製品の有害物質情報について技術設計部門や資材購入担当部門、調達先が連携して、切削工具と直線運動軸受の全材料、部品、梱包材等における環境関連有害物質の含有状況を調査し明確にしております。



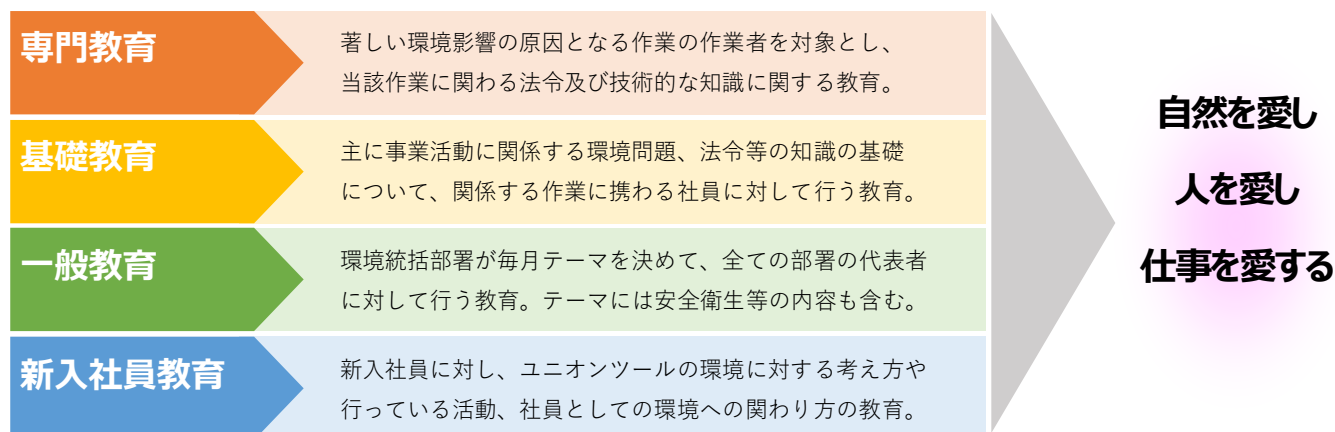
今後も製造から使用、そして廃棄まで、製品のライフサイクル全体を通じてより環境への負荷が少ない物づくりを目指してまいります。

皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆ 環境教育の取り組み

事業活動を行う上で少なからず環境に影響を及ぼしてしまうことは避けられません。このことを踏まえ、当社工場では環境統括部署が主体となり、環境に関する意識高揚と知識の習得を目的として社員に継続的に教育を行っています。教育体系は目的に合せて4つあり、入社直後の「新入社員教育」に始まり、毎月さまざまなテーマで実施される「一般教育」、事業活動に関連するテーマを掘り下げる「基礎教育」、更なる専門性へと導く「専門教育」と、内容もレベルアップしながら教育を体系的に進めています。

これらの環境教育は、“自然を愛し、人を愛し、仕事を愛する”という社風を守り続ける人材の育成につながっています。



◆ 地域貢献活動

● クリーン作戦

当社では長岡工場と見附工場において社員親睦会が主催する「クリーン作戦」を毎年春と秋の年2回実施しています。社員とその家族が地域への日頃の感謝の気持ちを込めて、工場周辺を美化する目的でゴミ拾いや草刈りを行う活動です。この活動は個人個人の環境美化に対する意識の向上にも繋がっています。



▲長岡工場の参加者



▲家族で参加する社員



▲見附工場の参加者

● 仲道郁代氏ピアノコンサート

当社は企業における文化芸術振興活動支援（メセナ事業）の一環として、当社がオフィシャルスポンサーを務めるピアニスト仲道郁代氏を招き、ピアノコンサートを開催しております。当社が主力工場を置く新潟県長岡市では、2002年から毎年定期的で開催しており、2017年で20回目を迎えました。2017年は「仲道郁代&仲道祐子デュオコンサート」と題し、日本を代表するピアニスト仲道郁代と仲道祐子姉妹による魅力あふれる演奏をお届けいたしました。当社を支援して下さる地域の皆様へ、良い音楽を一人でも多くの方に聴いて頂きたいという私共の願いで、ユニオンツール・クラシックプログラムを開催し、協賛しております。

また、当社はNHK交響楽団・東京フィルハーモニー交響楽団・新日本フィルハーモニー交響楽団の賛助会員として団体の音楽活動を応援させて頂いております。

仲道郁代オフィシャルHP：<http://www.ikuyo-nakamichi.com/>

長岡リリックホールHP：<http://www.nagaoka-caf.or.jp/>



▲コンサートポスター

● イルミネーション

長岡工場では毎年クリスマスの時期にあわせてデザインから装飾まで社員が全て行い、イルミネーションを点灯させています。

2017年は毎年恒例の大きなツリーやトンネル、当社製品である心拍センサのキャラクターの他、ハートを散りばめた花火を新設し、これまでとはまた違った華やかな雰囲気を演出しました。

社員を癒す目的で1995年から始めたこのイルミネーションは2017年で23回目を迎え、今では一般の方々からも、暖かいお手紙やお言葉を頂くこともあります。装飾には環境に配慮しLED（約30,000個）を使用しています。



▲イルミネーションの全景



▲ハートの花火

◆ 地域貢献活動

● 学術支援活動

公益財団法人

ユニオンツール育英奨学会

当社の主力工場である長岡工場を置く新潟県において 2002 年に育英奨学会が設立されました。奨学金は新潟県内の理工系大学等に在学中の学生を対象に、成績優秀であるが経済的理由で学業を続けることが困難である学生に対して育英奨学金を支給し、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的としており、会社としてその事業運営に協力しています。

また、県内の理工科系大学院等の研究室を対象に先端技術の研究費を助成することによって科学技術の振興を図り、産業発展に寄与することを目的として科学技術研究費助成金制度にも協力しています。

※なお、この活動は「公益財団法人ユニオンツール育英奨学会」の運営で行っています。

公益財団法人ユニオンツール育英奨学会HP：<http://www.uniontool.co.jp/scholarship/index.html>

◆ 今後の取り組み

2018 年度の目的・目標のうち、省エネルギー化については各工場において 2014 年度をベースとし、中長期の目標を定め、5 ヶ年で 5% の単位生産電力（エネルギー）使用量削減を継続的な目標とし取り組みます。

リサイクル化については取り組みの定着に伴い、維持管理項目として引き続き進捗の確認及び適宜対応を行います。

省資源化の課題については、工具の長寿命・高効率化をさらに進め、お客さまの求める品質を追及し、同時に環境へも配慮した製品の開発を積極的に進めてまいります。

◆2018 年度の取り組み

項目	推進内容	2018 年度目標
省エネルギー化	2019 年度までに単位生産電力使用量（※1）を 2014 年度比 5%削減 【長岡工場】	2017 年度電力使用量の 1%削減
	2019 年度までに単位生産エネルギー使用量（※2）を 2014 年度比 5%削減 【見附工場】	2017 年度エネルギー使用量の 1%削減
リサイクル化	ドリルケース再使用の推進	ドリルケース回収量の調査及び管理
	エンドミルケース再使用の推進	エンドミルケース回収量の調査及び管理
省資源化	工具の長寿命化	長寿命工具の開発 3 件
		工具用コーティング技術の開発 2 件

※1：「単位生産電力使用量（kWh/千本）」＝「電力使用量（kWh）」÷「切削工具の生産本数（千本）」

※2：「単位生産エネルギー使用量（kL/本）」＝「原油換算エネルギー使用量（kL）」÷「切削工具の生産本数（本）」

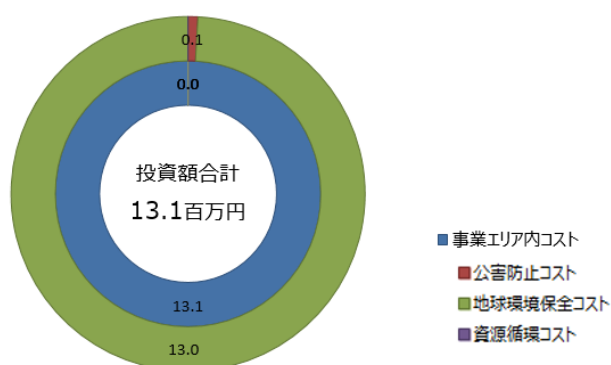
◆ 環境会計

2017 年度 環境会計集計結果

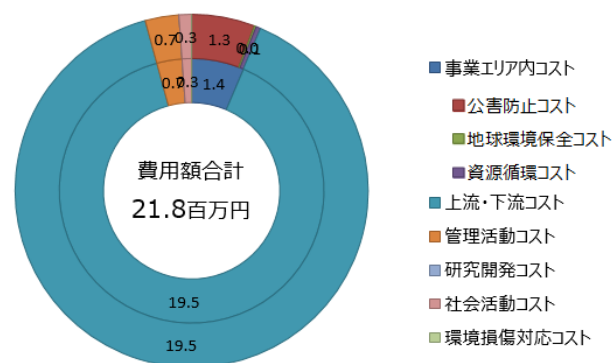
- ・対象範囲：ユニオンツール株式会社 長岡工場・見附工場
- ・対象期間：2017 年度（2017 年 1 月～2017 年 12 月）

◆環境保全コスト（単位：百万円）

①投資額における各コストの割合



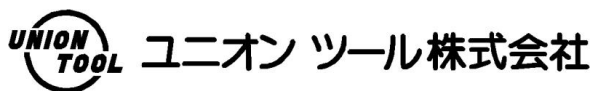
②費用額における各コストの割合



※投資額の減価償却の方法は、投資の効果が発現する期間を算定することが困難であるため、投資年度に全額償却することとしています。（また、自社製設備導入の際の一部部品購入等に関する投資額は計上しておりません。）

◆環境保全対策に伴う経済効果（単位：百万円）

項目	金額	主な取り組み内容及びその効果
収益	70.25	リサイクルに伴う有価物の売却益等
費用削減	△16.49	ドリルケース再利用による新品購入費の削減等
合計	53.76	



【本社】

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-17-1

TEL 03 (5493) 1001

FAX 03 (5493) 1002

環境報告書に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

【長岡工場】

〒940-1104

新潟県長岡市撰田屋町字外川 2706-6

TEL 0258 (22) 2620

FAX 0258 (22) 0045

長岡総務課 担当：米山

E-Mail yoneyamao@uniontool.co.jp

発行年月 2018 年 5 月

次回発行予定 2019 年 5 月

※本報告書は 2017 年度（2017 年 1 月～2017 年 12 月）のデータを中心にまとめています。

※一部のデータに関して、長岡工場及び見附工場の値が合算されているものがあります。

また最新情報の提供のため、一部の内容に関しては、2017 年 12 月以降のものも含まれている場合があります。